

もうすぐ

林業機械実習が始まります！

みなさんは、林業でどのような機械が使われるかご存知でしょうか？林業で使う機械には、伐採するためのチェーンソーだけではなく、伐採から丸太の加工までを行うハーベスタ、丸太を掴んで動かすグラップル、木材を積んで林内を走行するフォワーダなどがあります。

林業では、様々な機械で様々な作業を行うため、それに対応した多くの資格が必要となってきます。

林業アカデミーでは、入学して間もない4月に、チェーンソー・刈払機・小型重機の3つの資格を取得します。8月まではそれらの資格で作業が可能で、伐採や下刈り、重機の練習などを行い、技術の向上を図っています。7月と8月には、林業専用機の資格を含めた7つの資格を取得しました。これで学生も林業用の機械が操作できるようになりました。

12月のインターンシップまでは、林業機械の実習に励んでもらい、安全な作業ができる林業家になれるよう、しっかりと指導するよう努めます。

【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

問 にちなん中国山地林業アカデミー TEL 8410070



林業専用機の資格講習の様子

獣害対策  
アップデート

第27回  
見た目“は”  
可愛いアライグマ

日野郡鳥獣被害対策協議会  
川野 風花  
【問合せ】 72-1399




アライグマという動物をご存じでしょうか？この動物は、愛らしい見た目に反して気性が荒く、ペットには向いていません。アライグマを日本に広めたアニメ『あらいぐまラスカル』も、飼育が難しくなり、主人公がアライグマを森に返す、といったものでしたよね。

アニメのブームからアライグマを購入したものの、手に負えなくなり森に捨てたり、飼育施設から逃亡した個体が繁殖したりしました。本来日本にいない動物なので、現在は特定外来生物として駆除対象となっています。

アライグマは、見た目はタヌキに似ていますが、アライグマの尻尾には縞模様があり、耳のフチとヒゲが白といった特徴があります。

このアライグマによって引き起こされる被害は、タヌキやア

ナグマなど他の中型動物と同じで、家に住み着き生活被害を出したり、農作物を食い荒らしたりします。アライグマは器用な前足を持つため、スイカに小さな穴を開けて中だけほじって食べるのが特徴的です。実は、このアライグマ、最近日野郡内で捕獲されました。これから郡内でアライグマをひよっこり見かけることになるかもしれません。そこで、アライグマとタヌキの見分け方のおさらいをしておきましょう。

アライグマ	耳のフチとヒゲが白い 	尻尾が縞模様 	五本に分かれた指 
タヌキ	